

令和4年2月

吉宮元応 学位論文審査要旨

主査 藤井進也

副主査 飯野守男

同 上田敬博

主論文

Estimation of postcardiac arrest interval based on atrial cavity density in postmortem computed tomography

(死後CTにおける心房の吸収値に基づいた心停止経過時間の推定)

(著者：吉宮元応、上田敬博、生越智文、Dawa Zangpo、中留真人、飯野守男)

令和4年 Yonago Acta Medica doi:10.33160/yam.2022.02.001

参考論文

1. Paravertebral compartment syndrome after exercise: a case report

(運動が原因で発症した傍脊柱筋コンパートメント症候群の1例)

(著者：生越智文、吉宮元応、一番ヶ瀬博、木村隆誉、亀岡聖史、吉岡早戸、
上田敬博、本間正人、榎田信平)

令和3年 Journal of Medical Case Reports 14巻 208

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は来院時心肺停止状態であった症例のうち、一度も自己心拍再開することなく死亡した症例の死後CT画像の所見から心停止時刻を推定できないかを調べたものである。その結果、心大血管疾患で死亡した患者においては、右房前面のCT値の低下が心停止経過時刻と弱い相関を示すことが明らかとなり、近似直線を用いておおよその心停止時刻を推定できることが示された。本論文の内容は、心停止時刻の推定または死亡時刻推定に対する死後CT画像の有用性を示唆するものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。